

第 3 5 回 役 員 会 議 事 要 録

- 1 日 時 平成 2 3 年 2 月 2 8 日 (月) 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0
- 2 場 所 本部棟 2 階 「学長室」
- 3 出席者 4 人 (田中雄三学長, 西園芳信理事, 山下一夫理事, 清水勇行理事)

4 議 題

(1) 平成 2 3 年度の事務職員人事方針について

経営企画本部長から、資料 1 「平成 2 3 年度の事務職員人事方針」に基づき、平成 2 3 年度から経営企画本部の各課編成を見直すとともに、チームリーダー職を廃止し、室長・課長補佐制を導入すること、教務課附属学校チームを企画総務課へ移行すること等について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、室長等の配置については、今後の検討課題とした。

(2) 平成 2 3 年度学長裁量経費活用方針について

財務課長から、資料 2 「学長裁量経費活用方針の見直しについて (案)」に基づき、平成 2 3 年度学長裁量経費活用方針として、重点事業経費のうち、学生支援充実のため、外部資金獲得のためのインセンティブ経費 (科学研究費補助金) を廃止し、授業料免除枠拡大に伴う経費を措置すること、教育研究支援プロジェクト経費補填を廃止し、必要に応じて予備費内で対応する旨、説明があり、審議の結果、現段階における案として了承された。

なお、平成 2 2 年度は理事裁量経費を設けたが、平成 2 3 年度は設けないこととした。

(3) その他

学長から、今後、役員会で検討する事項として、以下のとおり提案があり、併せて審議にあたって事前の調査等の指示があった。

① 拡大教授会の実施

平成 2 3 年 1 0 月からの実施に向けてのスケジュール、(総務委員会を通じて各教員への意見聴取等を含む。), 他大学の状況等を踏まえた懸案事項等を整理すること。

② 飛び級制度 (「学部 3 年 + 大学院 2 年」による教員養成) 等についての検討

中央教育審議会の特別部会で「学部 4 年 + 大学院 1 年又は 2 年」による教員養成が検討されているが、学部 3 年で卒業し、大学院に進学することの可能性について、制度上 (教育職員免許法にも留意の上) の観点から調査すること。

5 報告事項

(1) 平成23年度「日本／ユネスコ パートナーシップ事業」について

山下理事から、資料3-1「「日本／ユネスコパートナーシップ事業」企画提案書」に基づき、平成23年度「日本／ユネスコ パートナーシップ事業」企画提案書を奈良教育大学が代表して文部科学省へ提出した旨、報告があった。

また、資料3-2「「日本／ユネスコパートナーシップ事業」計画書」に基づき、本件に係る本学の事業計画及び事業実施体制について報告があった。

(2) その他

1) 大学共同広報ラジオ番組（エフエム徳島提案）について

企画総務課長から、資料「大学共同広報ラジオ番組（エフエム徳島提案）について」に基づき、1月31日開催の第32回役員会において、月額140,000円（税別）の範囲内で参画することとなった、大学共同広報ラジオ番組について、本学と徳島大学の2大学が参画し、月2回程度の放送となること及び平成23年度の放送内容のモデル案について報告があり、企画等については、学内教職員、学生から意見を聴取することとした。